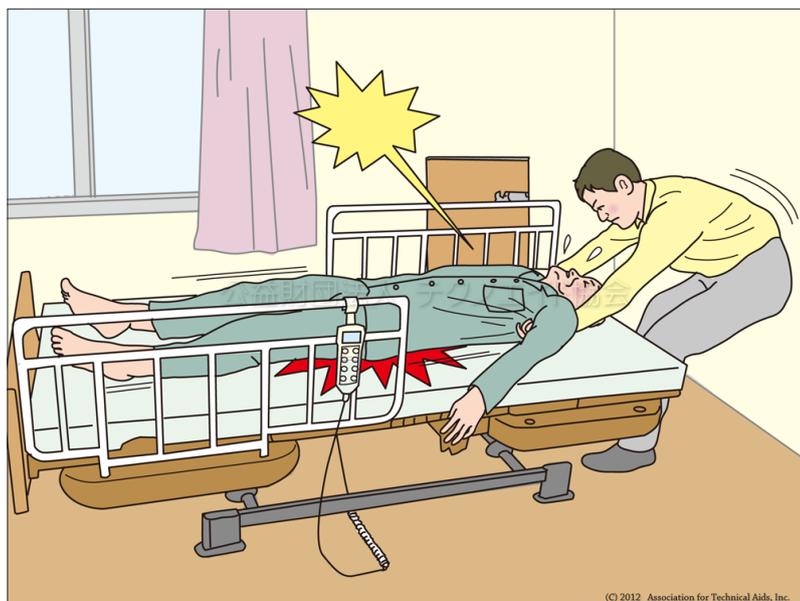


Case : 27

足側にズレた利用者の身体を、介助者が戻そうとして、ケガをしそうになる

## 場面の説明

ヘッドボードを取り外し、利用者の頭側から力づくで手前に引き寄せようとした



利用シーン

🏠 起居・就寝

主な利用場所

🏠 寝室

介護保険の種目

🏠 特殊寝台

分類コード(CCTA95)

181209(電動ギャッチベッド)

介護テクノロジー

-

二次元バーコード



## 解説

このような介助は、本人の痛みの問題だけではなく、褥瘡（床ずれ）の発生や悪化の原因となります。また、力任せの介助は介助者の腰痛の原因にもなります。足側にズレないベッド操作方法を習得し、寝位置の修正をする際にはスライディングシートを利用するなど、正しい介助方法を身につけましょう。

## 参考要因

- 人：ズレが褥瘡（床ずれ）の要因であることを理解していない
- 人：スライディングシートなどを使わず移動させた
- 環境：正しい介助方法や適切な用具を助言する人が周囲にいなかった